

IV

クライシスマネジメント編

☞ 研修例＝各自記入5分＋グループ協議7分＋全体共有7分（1シート約20分）

ワークシート④

USBメモリの紛失

○月△日、C先生は所定の手続きに従ってテストの得点データが入ったUSBメモリをカバンに入れ、校外に持ち出しました。しかし、途中、買い物に立ち寄った際、車内にカバンを放置し、買い物した後、カバンごと紛失していることに気がきました。

この後、C先生は具体的にどうすればよいのでしょうか？また、その後、学校はどのように動き、対応すればよいのでしょうか？



【まずC先生がとるべき行動として考えられること】

【次に学校が動き、対応すべき内容として考えられること】

ワークシート④の解答例と解説

USBメモリの紛失

○月△日，C先生は所定の手続きに従ってテストの得点データが入ったUSBメモリをカバンに入れ，校外に持ち出しました。しかし，途中，買い物に立ち寄った際，車内にカバンを放置し，買い物の後，カバンごと紛失していることに気がきました。

この後，C先生は具体的にどうすればよいのでしょうか？また，その後，学校はどのように動き，対応すればよいのでしょうか？



チェックポイント

次のような点を挙げているかチェックしましょう。

【まずC先生がとるべき行動として考えられること】

- 学校長等の情報管理者に紛失した情報と暗号化，パスワードの有無等を報告すること。
- 紛失場所（鉄道やバス会社，店舗等の窓口等）に早急に届け出ること。
- 警察に届け出ること。
- ※ カバンの中身やUSBメモリの形態（メーカー，色，形），もし分かればUSBメモリの製造番号等も伝えましょう。

【次に学校が動き，対応すべき内容として考えられること】

- 校内に対策委員会を設けて内部での検討，外部との窓口を一本化すること。
- 管轄の教育委員会に届け出て助言を受け，連携しながら対応を図ること。
- 予想される二次被害への対応をすること。
例 IDやパスワードが含まれていれば，関係するシステムへのアクセスを制御する。
- 個人情報が含まれ漏えいの恐れがある場合，本人や保護者への通知と謝罪を行うこと。
規模や影響が大きい場合，緊急の生徒集会や保護者会で，経緯説明と謝罪を行うこと。
- 再発防止のために，実施手順の見直しと遵守を行うこと。
- 報告について対策委員会等で内部評価し，隠ぺい工作が起こらないよう配慮すること。

☞ 情報漏えい後の対応5原則は次のとおりです。

- 1 被害拡大防止・二次被害防止・再発防止の原則
- 2 事実確認と情報の一元管理の原則
- 3 透明性・開示の原則（組織の透明性を確保し情報を開示する姿勢）
- 4 チームワークの原則（経営，広報，技術，法律など様々な要素を考慮し組織対応）
- 5 備えあれば憂いなしの原則

☞ 日頃から危機管理に向けた体制やチームづくりをしましょう。万一の際に，統一した見解や素早い対応が取れない場合，更なる信用失墜につながります。